

当社は2030年に向けての取組みとして「SANKEN Challenge2030」を2021年に策定し活動を進めています。
 本年度は、これまであった5つのテーマを3つに集約し、目的の整理と明確化を行いました。
 今後も持続可能な社会の実現を目指した取組みを進めてまいります。

※評価凡例
 ◎ 8割以上の達成
 ○ 5割以上8割未満の達成
 △ 5割未満の達成
 ※ 全店：4本部1支社8支店

マテリアリティ	2024年度 目標/指標	2024年度 成果	評価	2025年度 目標/指標	2030年度 目標/指標	ESG	ISO26000中核課題
---------	--------------	-----------	----	--------------	--------------	-----	--------------

テーマ1 地球にやさしい未来をつくる



1.1	持続可能な社会をつくる							
	地球環境を向上させる技術	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発技術の物件導入 エコサラ 5セット 研究開発と技術協力 15件 	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発技術の物件導入 エコサラ 7セット 研究開発と技術協力 20件 	○	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発技術の物件導入 エコサラ 5セット 研究開発と技術協力 15件 	<ul style="list-style-type: none"> 自社開発技術の物件導入 エコサラ 40セット 研究開発と技術協力 15件 	環境 E	労働慣行 環境 公正な事業慣行 消費者課題 コミュニティ参画
	ZEBの推進	<ul style="list-style-type: none"> ZEBプランナー実績 5件 社内ZEBプランナー育成 各店1人 ZEB物件の受注 受注目標×15% 	<ul style="list-style-type: none"> ZEBプランナー実績 0件/年 社内ZEBプランナー育成 2店2人 ZEB物件の受注 76.7億/937億 	△	<ul style="list-style-type: none"> ZEBプランナー実績 3件 社内ZEBプランナー育成 各店1人 ZEB物件の受注 受注目標×10% 	<ul style="list-style-type: none"> ZEBプランナー実績 ~'30年度までの合計 25件 社内ZEBプランナー育成 ~'30年度までの合計 30人 ZEB物件の受注 受注目標×45% 		
SC排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> SC排出目標値 Scope1+2 3,043t-CO₂ Scope3 761,215t-CO₂ SBTiにCommitment Letterを提出 TCFD提言に基づく情報開示準備 ('25年度に開示) 	<ul style="list-style-type: none"> SC排出実績 Scope1+2 3,087t-CO₂ Scope3 717,366t-CO₂ SBTiにCommitment Letterを提出完了 TCFD提言賛同表明、情報開示準備 ('25年度開示予定) 	○	<ul style="list-style-type: none"> SC排出目標値 Scope1+2 2,849t-CO₂ Scope3 733,022t-CO₂ SBTi認定取得 TCFD提言に基づく情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> '30年度パリ協定の水準と整合したSC排出目標値 (削減率は'23年度比) Scope1+2 1,877t-CO₂ 42%削減 Scope3 592,056t-CO₂ 25%削減 SBTi認定継続 SSBJ基準を参考に気候関連情報を開示 			
1.2	お客さまとともに地球の未来をつくる							
	GHG排出量調査と削減提案	各店1件	7店 7件	○	各店1件	各店1件		
	信頼される製品とサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> お客さま目線の営業活動 各店4件 コンカレントエンジニアリング(CE)の実施 各店2件 オフサイト生産による施工推進 各店5件 BIM活用による施工の見える化 各店1件 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま目線の営業活動 9店 23件 CE実施 10店 23件 オフサイト生産による施工推進 10店 36件 BIM活用による施工の見える化 5店 5件 	○	<ul style="list-style-type: none"> お客さま目線の営業活動 各店 完工目標30億あたり1件 CE実施 各店 完工目標30億あたり1件 オフサイト生産による施工推進 各店 完工目標50億あたり1件 BIM活用による施工の見える化 各店 完工目標50億あたり1件 	<ul style="list-style-type: none"> お客さま目線の営業活動 各店 完工目標30億あたり1件 CE実施 各店 完工目標 6億あたり1件 オフサイト生産による施工推進 各店 完工目標 7億あたり1件 BIM活用による施工の見える化 各店 完工目標 7億あたり1件 		
	安定品質の実現	<ul style="list-style-type: none"> 社員・事業主研修会等での品質教育実施 各店2回 	<ul style="list-style-type: none"> 品質教育実施 10店 2回 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 品質教育実施 各店3回 	<ul style="list-style-type: none"> 品質教育実施 各店3回 		
お客さまのパートナーになる	<ul style="list-style-type: none"> 民管元請受注の推進 受注目標×20% 改修工事受注の推進 管・電・建フンストップ受注の推進 受注目標×10% 	<ul style="list-style-type: none"> 183億/937億 19.5% 377億/937億 40.2% 57億/937億 6.0% 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 民管元請受注 民間受注目標×25% 改修工事受注 受注目標×40% フンストップ受注 受注目標×10% 	<ul style="list-style-type: none"> 民管元請受注 民間受注目標×40% 改修工事受注 受注目標×50% フンストップ受注 受注目標×10% 			

テーマ2 働きがいのある職場づくり



2.1	健康経営の推進	健康経営優良法人認定の継続	健康経営優良法人認定の継続	認定継続	◎	健康経営優良法人認定の継続	健康経営優良法人認定の継続	社会 S	人権 労働慣行 コミュニティ参画
2.2	多様性・公平性の推進								
	国籍・性別・年齢などに関係なく多様な人たちが能力に応じて活躍できる職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> TMS(タレントマネジメントシステム)の活用 人材情報の社内一元化と人材発掘 能力に応じて活躍できる人材適正配置 えるぼし認定「労働時間等の働き方」を改善 男性の育児参加 男性育休取得率 60% 	<ul style="list-style-type: none"> TMSの活用 データベース再構築 工事系社員の適正配置に活用 「労働時間等の働き方」を改善 改善済 男性の育児参加 男性育休取得率 53% 	◎	<ul style="list-style-type: none"> TMSの活用 全国の業務から活躍の場を提供(ミスマッチ低減) 「働き方」を改善 '26年度えるぼし認定取得へ 男性の育児参加 男性育休取得率 70% 	<ul style="list-style-type: none"> TMSの活用 '29~'30年度 全国の業務から活躍の場を提供(人材最適配置) えるぼし認定 第3段階 認定取得 男性の育児参加 男性育休取得率 100% 			
2.3	デジタル技術とデータ活用による新たな価値の創出								
	物件データの収集・解析・発信・運用	<ul style="list-style-type: none"> 施工計画・竣工報告など施工データの収集と展開 	<ul style="list-style-type: none"> 施工計画・竣工報告など施工データの収集解析 CEデータの活用と発信 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 経営データ見える化による適正な経営判断 	<ul style="list-style-type: none"> 経営データ見える化による適正な経営判断 			
2.4	DXによる新たな価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> SCS(施工管理システム) 施工の見える化試験運用 各店1件 事前検討システムの開発・運用 	<ul style="list-style-type: none"> SCS(施工管理システム) 施工の見える化試験運用 4店5件 ACC(Autodesk Construction Cloud)試験運用 1件 品質・安全管理システム 要件定義・開発開始 	◎	<ul style="list-style-type: none"> SCS(施工管理システム) 施工の見える化試験運用 各店2件 ACC(Autodesk Construction Cloud) 品質・安全管理システム 開発・試験開始 施工シミュレーションシステム 運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> SCS(施工管理システム) 施工の見える化試験運用 全現場で運用 ACC(Autodesk Construction Cloud) 品質・安全管理システム 全現場で運用 施工シミュレーションシステム 運用拡大 			
	人を育てる	<ul style="list-style-type: none"> '25年度以降の研修用新プログラム作成 管・電・建に関する実務者と資格者の確保 一級管以外(合格者数+資格保有者採用者数) 6人 各部門でDX推進に必要な情報をICT技術者に説明できる人材(DX人材)の育成 本社2人 各店1人 	<ul style="list-style-type: none"> 営業研修を新設、実施 1級管以外(合格者数+資格保有者採用者数) 情報処理技術者 3名 1級土木施工管理 1名 DX人材の育成 本社10人、4店7人 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 営業研修の見直しと実施、事務系研修構築 一級管以外(合格者数+資格保有者採用者数) 6人 DX人材 本社10人、各店1人 	<ul style="list-style-type: none"> 新プログラムによる研修と改善 一級管以外'21~'30年度 資格取得者合計 各10人 ・建築士、建施工、博士+技術士 20人 ・電施工 5人 ・通信施工 3人 ・情報処理技術者11資格 DX人材 ~'30年度まで合計 各部門人員×10% 			
2.5	社会貢献活動および地域の災害支援活動	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動継続 災害協定継続 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動 76回 災害協定継続 17か所継続 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動継続 災害協定継続 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動継続 災害協定継続 			

テーマ3 透明で公正な事業活動



3.1	コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連の取組みと情報開示内容を取締役会で承認 	<ul style="list-style-type: none"> 環境関連の取組みと情報開示内容を取締役会で審議・承認 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンス体制の評価・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンス体制の評価・改善 	ガバナンス G	組織統治
3.2	コンプライアンスの推進	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 関係法令研修・ハラスメント研修・CSR研修・公益通報制度運用研修を実施 	◎	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の実施 		